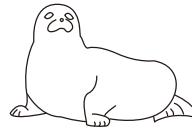


タンネウシ



1月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

古代チャシコツカフェ

今年最初のミュージアムカフェは、チャシコツ岬上遺跡の話題です。どこがスゴイのか、どうして国の史跡に指定されるのか、着手から史跡への6年間の軌跡とドラマチックな大発見の裏側などを学芸員の奮闘ぶりを交えてお話しします。また、当日は特別展最終日のため、カフェ終了後に参加者限定で展示の見どころも解説いたします。▶日時：1月20日(日) 18:30～20:30▶場所：交流記念館2階応接室▶参加費：大人200円(要申込み、協力会員無料)▶定員：13名



予告！ 開館40周年記念連続講演会「オホーツク文化の最前線」

近年、道北や道東で新たな発見が相次ぐオホーツク文化。彼らはいったいどこからやってきて、どこへ姿を消したのでしょうか。道内各地でオホーツク文化に関する調査研究を行い、最前線で活躍する方々を招き、約1,200年以上昔にオホーツク海沿岸

に栄えた古代文化についてご紹介いたします。▶期間：2月中～下旬予定▶場所：交流記念館ホール▶詳しくは2月号のタンネウシでご案内します。

好評開催中！ 特別展「丘に眠るオホーツク文化」

チャシコツ岬上遺跡をはじめとする各地のオホーツク文化の遺跡から見つかった資料を一挙に公開しています。話題の古銭や、遺跡を鳥の視点で眺められるVR(仮想現実)体験もご用意しています。▶期間：開催中(1月20日(日)まで)▶場所：交流記念館ホール▶記念品：6・13・20日(日)は先着10名様に特別展オリジナルマスキングテープをプレゼントします。

※特別展のみの観覧は無料です。



部分日食を見よう！

日本では3年ぶりに部分日食がみられます。部分日食とは、太陽の前を月が通過して一部がかくれる現象です。今回の日食は北に行くほど太陽のかける割合が大きく、北海道は好

条件です。太陽観察用のメガネや望遠鏡に反射板をつけて、日食を観測しましょう。▶日時：1月6日(日) 8:45～10:30(太陽が出る見込みがなければ実施しません)▶場所：博物館天体ドーム▶講師：合地信生、村上隆広▶参加無料、申込み不要



学芸員のイチオシ

VRヘッドセット IDEALENSK2+ PCやスマホ無しで動作します。360°カメラで撮影した動画をPCソフトで編集し、SDカードを本体にセットするだけでVR体験ができます。開催中の特別展会場で、ぜひ体験してください。(平河内)

休館日 1月の休館日は3日(木)まで年始休み。14日(祝・月)と翌15日(火)・7・21・28日の月曜日です。

編集後記 早いもので着任して6年が経ちました。フレッシュさを失いつつありますが、今年も若い力で斜里を盛り上げます！(平河内)